

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2013
平成25年

1.15

輝かしい年に
期待を込めて！

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターだより	
「子どもと一緒に楽しくクッキング！」	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- 子どもと作るうー簡単クッキング……………3ページ
- 地域の話(和地校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報サポーターだより

子どもと一緒に楽しくクッキング！

市民発!

皆さんこんにちは。広報サポーターの河合亜紀です。広報サポーターとして広報たはらにレシピを掲載するかたわら、食育についての講演や教室などの講師を「食」のコンシェルジュとして務めることもある私。今回は、子どもの食育について紹介します。



●自分でできるって楽しいな



●ニンジンをついたよ



●一緒に作ったごはんはおいしいね

食育について

食育は、ここ数年で聞きなれるようになった言葉ではないでしょうか。365日、『一日3食』とすれば、私たちは一年に1095回の食事をしています。保育園や幼稚園、学校だけでなく、家庭での食育が一番大切だと思います。それは、難しいものではありません。毎日の「食」そのものが一番の食育です。

「食べる」って五感を使うこと

目をつむり、鼻をつまんで食べてみると、普通に食べるよりも「味」を感じにくくなります。食べることを改めて考え



あき
河合亜紀
(神戸校区)

お手伝いから始めてみよう！

「食育」と聞くと、「包丁を使って、何か料理らしいものを作らない」と思ってしまうかもしれませんが、子どもたちは無理なく楽しみながら調理をすることに興味が出てきます。年齢によって、できることとできないこと、また個人差もあります。低年齢の子の場合は、調理を見ることが始めてみてはいかがでしょうか。「こんな音がするね」「触ってごらん」「どんな匂いがある？」など、直接調理に関わらなくても、食材を知ることはいくらでも体験することができます。



子どもと一緒にできる調理例

● 野菜を包丁で切る…低年齢の子は菜をちぎる、棒状に切った野菜を折る。

● じゃがいもなどをつぶす…マッシャーやすりこぎを使う場合、ボールが滑らないよう工夫する。低年齢の子は厚手のビニール袋に荒熱のとれた食材を入れて手でつぶす。

● フライなどの衣つけ…粉類をまぶすときは、少量ずつ粉と食材をビニール袋に入れて良く振る。

◎お手伝いのポイント

* イライラしながら、

お手伝いをしてもらわない。

* 大きな声でいうよりも、声のトーンも話し方も「そーっと」「やさしく」。

* 子どもができることをしてもらう。

* 積み重ねをしていく中で、少しずつアップをしてみる。



子どもがお手伝いをした後は、「ありがとう」「よくできたね」「うれしかったよ!」など、ほめる言葉や感謝の気持ちを忘れずに伝えましょう。自分たちがお手伝いした料理は、いつも以上においしく、気持ちも「おいしい」と感じると思います。皆さんも、小さなことから始めてみませんか?



子どもと作ろう♪ 簡単クッキング

今回は、子どもと一緒に作ることができる簡単なレシピをご紹介します。

コーンフレークのお菓子

【材料5人分】

- コーンフレーク(砂糖のついていないプレーン味) 50g
- 有塩バター 40g
- マシュマロ(プレーン味) 25g
- お好きなトッピング

【作り方】

- ① バターは、溶けやすいように小さく切り、マシュマロも同じように小さくちぎっておく。
- ② テフロン加工のフライパンにバターを入れて弱火で溶かし、バターが溶けてきたらマシュマロを入れ、少し混ぜながら溶かしていく。
- ③ バターとマシュマロが、よく混ざり溶けたら、コーンフレークを一気に入れかき混ぜる。
- ④ クッキングシートをひいたバットに③のコーンフレークを入れて平らにする。
- ⑤ 熱いうちに好きなトッピングをして、よく冷やし固める。
- ⑥ 好きな形に切って保存容器に入れておく。



バットに広げるときに、好きな型に入れたり、好きな形を作ったりすることができます。バレンタインのプレゼントにもいかが?



子どもは「まぜまぜ」が大好きです。卵アレルギーのお子さんや甘くないので朝ごはんにも!

コーンパンケーキ

【材料1人分】

- 小麦粉 15g
- ベーキングパウダー 1g
- クリームコーン 20g
- パセリ 1g
- ロースハム 5g
- 牛乳 10g
- サラダ油 適量
- トマトケチャップ 適量
- 水 適量

【作り方】

- ① 小麦粉とベーキングパウダーをふるっておく。
- ② クリームコーンに、みじん切りしたパセリとみじん切りしたハムを混ぜる。
- ③ ①に②を混ぜ水で固さを調整する。
- ④ 熱したフライパンに油をひき、③を流し両面焼く。
- ⑤ ケチャップをつけて出来上がり。



▲避難所スペースの使い方について話し合う子どもたち



▲子どもたちに三角巾の使い方を指導する保護者

地域の話題

和地校区

みんなで考える防災対策

1年を通して、さまざまな防災活動を行い
地域ぐるみで防災強化に取り組む和地校区コミュニティ協議会から
お便りが届きました。

地域発!

防災キャンプ

昨年夏。小学5・6年生と保護者・地域役員を中心に、学校を避難所と想定した生活体験を行いました。今後の和地校区の防災力の向上につながるよう、校区・学校行政が協力し、「子どもの防災教育」「校区の防災体制の再確認」の2つを重点に置きました。子どもたちは、より効果的な事業となるよう「田原市の防災対策」「避難所の健康管理」などをテーマに、事前学習を行いました。

応急救護・救急訓練では、保護者の皆さんが、子どもたちに三角巾の使い方や毛布を使った担架作りなどを指導しました。保護者の皆さんは、事前に地域の自主防災リーダーから指導を受けており、子どもたちへ指導す

るという責任感もあつて、救急救護に関しての理解がより一層深まりました。

このように準備の段階から二人ひとりが主体性を持って参加し、また、キャンプ初



▲事前の打ち合わせの様子

日の夜、校区住民の方も参加した「渥美半島の過去の地震や津波についての講演会」（講師・和地小学校藤城校長）を開催したことで、校区全体の防災体制の確認や防災意識の向上につながったと思います。

防災情報満載のファイル

秋。校区全域の地震・津波避難マッ

プや避難
所生活の
心得、災
害に対す
る備えな
どの資料
を入れた
防災ファ
イルを全
世帯に配
布しまし
た。関連
する資料
を1つの
ファイル
にまとめたことにより、いざというときの対応を調べやすくなりました。



▲防災情報を見やすくまとめました

また、老人クラブの会合などで防災ファイルの周知も行い、防災意識を高めようと働きかけました。

家庭への周知徹底を

冬。各家庭における防災や災害時の対応などについての意識高揚を図るため、今後の取り組み内容を検討しています。

まずは、地震対策などの制度紹介や、対策の効果などの周知を行っていかうと考えています。

和地校区では、さまざまな角度から住民への意識啓発を行い、校区全体で防災について考え、実践していく地域づくりを進めていきます。



市民活動を応援するページ



イベント紹介

第10回あつまNPOの集い

～「生きる」ということ～

●平成24年度市民活動向上事業補助金採択事業

日時：2月3日(日) 10:00～16:00 (入場無料)
 場所：渥美文化会館多目的ホール ほか
 内容：◆パネル展示、ステージ公演、バザー など
 ◆午後のオープニングピアノコンサート (13:00～)
 基調講演：テーマ「私は生きています。一生懸命生きています。」
 講師：濱宮郷詞 (はまみや さとし) 氏



あつま NPO ネットワークは、多くの市民や市民活動団体がお互いに助け合い、市民活動をより活発に行うことができるよう、講座やフォーラムの企画運営を行っています。また、団体同士の交流イベントや懇談会などに参加し、団体間の連携強化を目指しています。

今年で10回目を迎える「あつまNPOの集い」では、団体の活動を紹介するパネル展示やステージ公演のほか、「車椅子の熱風講師」濱宮郷詞氏を迎えての基調講演も行います。

多くの市民の皆さんのご来場をお待ちしています。

あつまNPOネットワーク 問い合わせ ▶ 北原：☎ 090-9226-1977 / 森下：☎ FAX 32 局 3963

イベント紹介

第6回しみんのひろば

シェア！～わかちあい～

●平成24年度市民提案型委託事業(テーマ提示型)



日時：2月24日(日) 10:00～15:00 (入場無料)
 場所：田原文化会館多目的ホール ほか
 内容：◆パネル展示、バザー、スタンプラリー、ものづくり体験、ダンスショー、軽食コーナー など
 ◆ドキュメンタリー映画上映会「カンタ!ティモール」(10:20～)
 (激しい内戦から立ち上がろうとする東ティモールの若者たちを描いた映画)
 【トークショー】講師：監修・南風島渉 (はえしま わたる) 氏

しみる のひろばは、田原市内で市民活動やボランティア活動を行う団体や、日々の活動を市民の皆さんに紹介したり、他の団体と交流したりすることを目的としたイベントです。イベントの企画運営を行っているしみるのひろば運営委員会では、「市民による市民のための」市民活動を、多くの皆さんと分かち合えるよう着々と準備しています。ぜひ会場で市民活動に触れ、考え、思いを分かち合いましょう！

しみるのひろば運営委員会 問い合わせ ▶ 伊藤：☎ 090-8336-7345

田原市民活動支援センター

☎ <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

❶ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

❷ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎22局 1111 (内線812) ※ 開設時間のみ ☎23局 0180 ☎shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールリポート

SCHOOL REPORT 54
学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「ふるさと学習」と「餅つき大会」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

野田小学校「ふるさと学習」

調べたことを地域に発信！

野田小学校では、生活科や総合的な学習の時間を使って「ふるさと学習」を進めています。これは、校区の自然・産業・文化などを学び、ふるさとへの愛着を深めることをねらいとしています。

今年度の各学年のテーマは、「どうまい牛乳」「サンテパークたはら」「田原牛」「芦ヶ池」などです。子どもたちは、調べたことを劇や歌にして、野田小フェスティバル(学習発表会)で発表しました。なかでも、郷土の偉人である河合為治郎の劇化や、十数年ぶりに復活した豊年踊りは大変好評でした。子どもたちや保護者の方からは「親でも知らなかった野田のことをわかりやすく教えてくれて、とてもためになりました」「豊年踊りはなつかしく、今でも踊れる自分にびっくりしました。これからも続けて次の世代につなげてほしいです」などの感想が寄せられました。

これからも、地域に根ざす「ふるさと学習」を展開していきます。

※河合為治郎…嘉永3年に生まれ、野田村振興に力を尽くし、賭博の禁止や耕地整理、養蚕業の奨励などを行った人



●4年生が自分たちで劇化した為治郎劇



●豊年踊りの衣装で記念撮影する5年生

●おじいさんと一緒に餅つき



伊良湖小学校「餅つき大会」

地域との絆を育む餅つき！

伊良湖小学校では、平成21年、5年生の「お米づくりをしたい！」の声から、PTA役員さんの協力を得て田んぼを作りました。それから毎年、5年生を中心に餅米づくりを行っています。

10月には祖父母学級で、餅つき大会を開催しました。子どもたちが収穫した餅米で、地域のおじいさん、おばあさんと一緒に餅つきを行いました。当日は、近所のおじいさんに杵の持ち方や餅のつき方を教えてもらったり、おばあさんに餡ころ餅の作り方を教えてもらったりしました。みんなで協力しながらついた餅をおいしく食べ、行事が終わるころには、おじいさん、おばあさんとすっかり打ち解けて仲良くなっていました。

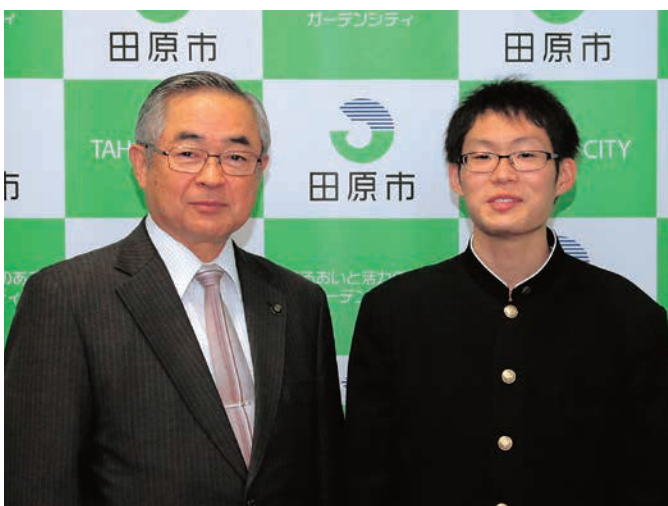
この餅つき大会は、地域との絆を強くするよい機会となっています。



▲優勝チーム【一般の部(男子)】トヨタスポーツマンクラブA
【高校の部(男子)】愛知高校A【女子の部】中京大中京高校



▲年齢も性別も関係なく、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツです



▲市長から「平常心で鍛錬の成果を出して」と激励された近藤さん(写真右)

12月16日(日)

風光明媚な
半島を駆ける！

渥美半島駅伝競走大会が開催され、全国各地から109チームが参加しました。今年で65回目を迎えたこの大会。伊良湖岬から一斉にスタートし、女子は赤羽根市民センター、男子は豊橋技術科学大学のゴールを目指し、力強く渥美半島を駆け抜けました。

12月16日(日)

体も頭も使う
楽しいスポーツ

キンボールスポーツ大会が渥美運動公園屋内競技場で開催され、19チーム約100名が参加しました。攻撃チームが打ったボール(直径約1.2m)を落とさないようにし、得点を競うこの競技。参加者は、仲間と協力しながら、さわやかな汗を流しました。

12月11日(火)

大舞台にも
平常心で挑む！

全国高等学校弓道選抜大会(神奈川県相模原市「12/24(土)～26(日)」)に出場を決めた近藤まこと(成章高2年)が、市長を表敬訪問しました。近藤さんは「緊張すると思うが、練習を重ね、いつも通りの力を発揮したい」と意気込みを語りました。

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

●省エネ普及啓発ポスター 優秀作品

平成24年12月18日に開催した、たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会で、省エネ普及啓発ポスターの優秀作品を決定し、12月25日に表彰式を開催しました。入賞者と入賞作品は以下のとおりです。※敬称略（順不同）

最優秀賞や優秀賞、そのほかの入選作品は、市ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。



▲表彰された皆さんと副市長

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2,129人、事業所81か所（12月末現在）

▼たはらエコ・ガーデンシティ地域
協議会事務局（エコエネ推進課内）

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>



◆小学校低学年の部

【最優秀賞】

六連小学校3年 大河藍さん



【優秀賞】

清田小学校3年 秋元美空さん



◆小学校高学年の部

【最優秀賞】

中山小学校6年 中川はる菜さん



【優秀賞】

童浦小学校5年 橋本ほのかさん



【優秀賞】

若戸小学校6年 杉原光くん



◆中学校・高校の部

【最優秀賞】

田原中学校3年 鈴木智哉くん



【優秀賞】

福江中学校1年 中村祐実さん



【優秀賞】

赤羽根中学校3年 大野翔平くん



交 流 通 信

国際化との交流・多文化共生

友好都市 プリンストン市およびギブソン郡との交流

米国インディアナ州プリンストン市・ギブソン郡との交流をご紹介します。

●交流のきっかけ

姉妹都市、アメリカ・ジョージタウン市と同じように、田原市と同じ自動車関連工場が立地されたことがきっかけで、プリンストン市とギブソン郡とで構成された「友好都市委員会」から、交流を申し込まれ、平成14年に友好都市提携を結びました。アメリカの交流都市は、ジョージタウン市に続いて2つ目です。

●プリンストン市・ギブソン郡はこんなところ

プリンストン市・ギブソン郡は、アメリカ北東部にあるインディアナ州の南部に位置します。プリンストン市は、ギブソン郡の郡庁所在地で、最も近いエバンズビル空港からは、車で約1時間の距離です。基幹産業は農業ですが、自動車関連工場の立地がきっかけで工業も盛んになっています。



インディアナ州

は、ジョージタウン市があるケンタッキー州の隣にあります。ジョージタウン市からプリンストン市へは、高速

道路1本で移動でき、車で約3時間30分の距離です。

●プリンストン市・ギブソン郡との交流

市長などの相互訪問のほか、中学生海外交流（派遣・受入）、市民訪問団の派遣も行われています。昨年6月には、ギブソン郡の中学生が田原市を訪問、9月には、田原市の中学生がギブソン郡を訪問しました。中学生は、ホームステイしながら、学校生活を体験し、交流を深めました。

▶広報秘書課 ☎22局0138



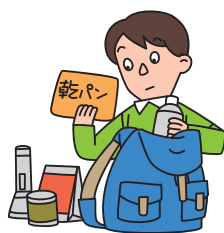
▲ギブソン郡庁(プリンストン市)

●非常持出品袋
非常持出品袋は一人一つ必要です。できるだけ、軽量・コンパクトにまとめ、リュックサックなどに入れておくといでしょう。

■例：非常食（ビスケットなど）、水、携帯ラジオ、懐中電灯、貴重品（現金、保険証コピーなど）、マスク、携帯スリッパ、ビニール袋、ライター、電池、常備薬・お薬手帳、メガネ、コンタクト用品、生理用品など

◆非常持出品を用意しよう

を用意しましょう。



こ んにちは、けんちゃんです。大災害は突然やってきます。皆さんは、非常持出品を用意していますか。避難する際に持ち出す必要最小限の「非常持出品」と、避難生活

が長引きそう
なときに必要
な「非常備蓄
品」の2種類

みんなできり組む防災・減災
防災知恵袋
非常持出品を用意しよう

21



●非常備蓄品

災害発生から3日間は、市役所や他の地域からの支援が期待できないため、最低3日分は用意しておきましょう。

◆用意する際の留意点

・非常持出品の重さの目安は、男性で15kg程度、女性で10kg程度です。あまり欲張らず、避難に支障がない程度にしましょう。

・食品や薬など期限のあるものは、定期的に確認して交換しましょう。



▼防災対策課 ☎23局3548



募集

WANTED

田原市交通指導員

▼募集人員＝1名 ▼対象＝18歳以上の健康な方で、普通自動車免許をお持ちの方 ▼採用期間＝4月1日～平成26年3月31日 ▼勤務場所＝童浦小学校区 ▼勤務内容＝通学路での児童・生徒への交通安全指導、交通安全教室での園児への交通安全教育、各種交通安全イベントへの参加など ▼勤務形態＝登校日の午前7時～午後5時のうち4時間（おむね午前1時間、午後3時間の勤務） ▼報酬＝月額10万4000円 ▼選

考方法＝面接（詳細は後日通知）
▼申し込み＝2月8日（金）までに市民協働課にある履歴書に必要事項を記入のうえ、運転免許証の写しを添えて提出
▼市民協働課
☎23局3504 FAX23局0180

田原福祉専門学校 平成24年度公開セミナー 参加者

▼日時＝2月16日（土）午後1時30分～3時 ▼場所＝田原福祉専門学校講堂 ▼内容＝介護現場における災害時の備えについて ▼講師＝金子和香子氏（社会福祉法人さわらび会 軽費老人ホーム若菜荘 介護士長） ▼定員＝80名（先着順） ▼参加料＝無料 ▼申し込み＝電話またはFAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は、住所・氏名・参加人数を明記）
▼田原福祉専門学校
☎22局3939 FAX22局7340
✉senmon@city.tahara.aichi.jp

村松友視氏トークライブ 参加者

▼対象＝どなたでも ▼日時＝2月10日（日）午後2時～3時30分
▼場所＝田原文化会館多目的ホール

▼内容＝泉鏡花の作品や、ご自身の作家活動について、直木賞・泉鏡花文学賞を受賞した作家・エッセイストの村松友視氏に語っていただきます。 ▼定員＝200名（先着順）
▼参加料＝無料 ▼申し込み＝直接または電話・Eメールにて（Eメールの場合は、代表者の住所、氏名、Eメールアドレス、電話番号と、代表者を含めた参加希望者の人数を明記）
▼中央図書館
☎23局4946 FAX23局4646
✉toshio@city.tahara.aichi.jp

平成25年度学校施設開放 利用団体の登録

平成25年度に小・中学校体育施設を利用する団体の申請を受け付けます。平成24年度に登録していた団体も新たに申し込みが必要です。

▼対象＝市内在住・在勤の10名以上のグループ ▼開放施設＝市内の小・中学校の運動場、体育館、武道場 ▼使用料＝①体育館・武道場／1団体1時間100円②東部中学校ナイター／1時間1000円③運動場＝無料 ▼申し込み＝2月15日（金）までに生涯学習課または田原・赤羽根文化会館、渥美運動公園にあ

る登録申請書に必要事項を記入のうえ、直接またはFAX・Eメールにて（登録申請書は教育委員会ホームページからダウンロード可）
◆学校施設開放利用団体説明会
登録団体の責任者または代理の方は、必ず出席してください。
▼日時＝3月中旬を予定（決まり次第、責任者の方に郵送でお知らせします） ▼場所＝赤羽根文化会館文化ホール
▼生涯学習課
☎23局3531 FAX22局3811
✉syogaku@city.tahara.aichi.jp
http://www.city.tahara.aichi.jp/section/kyoiku/

◆華山会新春美術展を開催します

（財）華山会では、画家や書家として大成を極めた郷土の偉人、渡辺華山の偉業を後世に伝え、地域の芸術文化の振興を図ることを目的に、新春美術展を開催します。

▶日時＝2月6日（水）～11日（日）・祝 午前9時～午後4時30分／6日（水）は午前10時～ ▶場所＝華山会館 ▶内容＝絵画・書・古美術品などを展示 ▶観覧料＝無料 ▶後援＝田原市教育委員会・田原市文化協会
▶（財）華山会 ☎22局1700



防衛大学校学生（一般後期）

▼応募資格＝平成25年4月1日現在、18歳以上21歳未満の者 ▼募集人員＝人文・社会科学専攻／約10名、理工学専攻／約30名 ▼申し込み＝1月23日（水）～2月1日（金）※詳しくはお問い合わせください。

▼自衛隊豊橋地域事務所

〒441-8016 豊橋市新栄町南小向41

☎（0532）33局2693

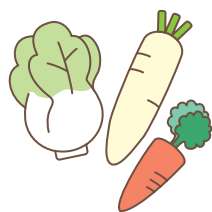
✉aichi.pco.toyohashi@rct.gsd.mod.go.jp

生活

LIFE

第9回農畜産物フェア

「行かまい、食べまい、田原の味覚」



今年も、渥美半島の新鮮で安全な農畜産物の即売を中心とした、地元農業者の皆さんによる地域農畜産物のPRイベントを開催します。ぜひご家族でお越しください。

▼日時＝2月3日（日）午前10時～午後2時 ▼場所＝サンテパルクたはら内 サンテドーム ▼内容＝農畜産物の即売、寄せ植え、風づくり、餅つき、地元農産物を使った大鍋、各種模擬店、イベント、子ども向けゲーム、農畜産物加工品販売など

▼農業者のつどい実行委員会

（東三河農林水産事務所田原農業改良普及課内）

☎22局0381

教員免許状をお持ちの方は 教員免許の更新が必要です

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、現在、教員免許更新制が実施されています。今後、教壇に立つ見込みのある方は、生年月日に応じて修了確認が必要です。



免許の期限は、文部科学省ホームページで確認することができます。教員免許更新講習が必要な方は、申し込みや確認申請の手順などについて、愛知県教育委員会ホームページで確認ください。

◆文部科学省ホームページ

☎http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index.htm

◆愛知県教育委員会ホームページ

☎<http://www.pref.aichi.jp/000023795.html>

▼愛知県教育委員会教職員課教員免許グループ

☎（052）954局6772

国有地を一般競争入札で 売却します

東海財務局では、相続税の物納により国有となった土地や、国として使用しなくなった庁舎跡地などを売却しています。

●売却地

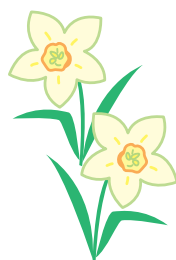
①【所在】福江町浜田1番7ほか1筆【地目】宅地（現況／宅地）【面積】228・13㎡

②【所在】和地町北山4番29ほか2筆【地目】山林（現況／山林）【面積】10万9894・29㎡

▼入札受付期間＝1月25日（金）～31日（木）※最低売却価格など、詳細はお問い合わせください。

☎（052）951局1710

☎<http://tokainof.go.jp/>



寄付

DONATION

次の方々からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼12月5日、社団法人田原青年会議所理事長 鈴木重則様からふるさと学習の充実のため、渥美半島かるた（手づくり）全159個。

▼12月12日、株式会社オーテック代表取締役 彦坂彰一様から市の防災対策のため、バッテリー内蔵LEDライト2基。

ふるさと寄附

▼12月19日、笠井喜美子様（東京都）から金100万円。

●毎年2月7日は「北方領土の日」です

「北方領土の日」は、北方領土問題に対する国民の関心と理解をさらに深め、北方領土返還要求運動の全国的な盛り上がりを図るために1981年（昭和56年）1月6日に設けられました。「北方領土の日」には、東京で「北方領土返還要求全国大会」が、内閣総理大臣や各政党の代表、元島民、返還運動関係者などの出席のもとに開催され、この日を中心にして全国各地で多彩な行事が行われています。

▶総務課 ☎23局3506 ☎23局0180

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
142



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

縄文時代の巨大なマツリ場の 保美貝塚のなぞ②

平成22年の夏、保美貝塚で国立歴史民俗博物館の山田康弘さんらの研究チームが「盤状集骨墓」と呼ばれる縄文時代の墓を26年ぶりに発見しました。このお墓は、墓穴内に手足の骨が正方形もしくは多角形に規則正しく並べられ、その中に他の骨が収められています。これは全国でも三河地方でしか見つかっていない大変珍しいもので、ほとんどが渥美半島で発見されています。特に保美



●保美貝塚で見つかった盤状集骨墓

貝塚では、この墓が集中的に発見され注目されています。

墓に葬られている遺体は、1人の場合や、9人という事例も報告されています。このような葬り方は、縄文人がまとめて葬り直した墓、疫病など集団で亡くなった人たちの墓、不幸な亡くなり方をした人の墓など、さまざまな説があります。よく似たもので、大きな穴に、たくさんの人の骨をまとめて埋める多人数集骨という葬り方もあります。このように、一度骨になった遺体を再び葬

り直すことを再葬と呼び、この地方では縄文時代の終わりに発達しました。遺体を焼き骨にしたり、土器に骨を入れたりして葬る場合もあります。これは、遺体を骨にする過程がありますので、時間と手間がかかるものです。

このような墓は、縄文時代終わりの自然環境の変化で人々の不安が広がり、その不安を解消するために、祖先の人たちを再び葬り直す儀式を行い、血縁やムラなどの地域の絆を深めることが目的であったという説があります。現在でいうお葬式やお墓参りは、死者を弔うだけでなく、社会の絆を深める大切な行事だったのでしょう。このことを、縄文人は生きる知恵として知っていたのだと思います。

この盤状集骨墓には、年齢や性別も関係なく葬られています。近年の研究では、「①頑丈な骨格を持つ②下あごの犬歯が抜かれている」という共通点がみられます。①については、遺伝的な理由や労働条件などが考えられますが、②については、その人の立場を示すものなのかもしれません。また、今回の保美貝塚で

の発見例は、多人数集骨と焼かれた骨などが加わり、再葬にかかわる全ての要素がみられる、より複雑な墓となっています。

保美貝塚では、人々の絆を深めるため、盤状集骨墓を作って祖先へ祈りをささげたことが考えられます。しかし、これらを証明するには、葬られた人たちの血縁関係や社会的な立場、死亡理由などについて詳しく研究する必要があります。研究チームの発掘はまだ途中ですが、盤状集骨墓から得られた骨のDNA分析など最新の研究方法を駆使し、縄文時代の社会解明に挑戦しようとしています。その成果に、大きな期待がかかっています。

(増山)

今月の「表紙」

▼昨年の10月から12月にかけて、日出の石門から昇る朝日を、恋路ヶ浜や日出園地で撮影した私。撮影時には、遠方から来たアマチュアカメラマンの方々と、田原の撮影スポットなどについて話しながら日の出を待つこともしばしば。その度に、田原はきれいな所なんだと再認識しました。(〇)

【表紙の写真】日出の石門と朝日(恋路ヶ浜)